



2年 学年だより

「立志の集い」を終えて

2月5日(水)に「立志の集い」が行われました。金沢市子ども会連合会会長の縄寛敏様よりお祝いの言葉をいただき、記念講演では、正木明様より「立志の日に読んでみることわざ・名言」について貴重なお話をお聞きすることができました。リーダー会会長の浜谷七海さんの「誓いの言葉」にあったように「自分にできることは全力で取り組む」姿勢を大切に、さらに周りの人を思いやり行動していかなければなりません。一人ひとりが夢や希望を忘れることなく、大人への第一歩を踏み出して行きましょう。一部感想を紹介します。



「天才は努力なり」は、私は天才がいると思っていたけれど、私がある人の1日の過ごし方を知らないから、そう思うのだという話に納得したし、見えない努力が実を結ぶのは嬉しいことなので、毎日コツコツ頑張ろうと思いました。

1組 池野 利佳

「計画のない目標はただの願いごと過ぎない」は、私にも「志望校に合格したい」というばくせんとした目標はありますが、そこまでの明確な計画を立てたことはないし、考えたことすらありませんでした。なのでこれからは少しずつでも計画を立てていきたいと思いました。

1組 柳瀬 七海

「感謝のキャッチボール」とは、日頃から小さいことにも感謝する、「幸せのホームランとなる」とは、その小さい感謝でも言った方も、言われた方も大きな幸せを感じることができるという意味にとることができます。この言葉を聞いて、もっと感謝の気持ちを、思うだけではなく口に出していきたいと思いました。

2組 小阪 倫香

「立志の集い」を終えて、自分は1人の人間としてこれからの人生を過ごして行きたいと思った。昔は、12歳から15歳の間に大人になると聞いて、僕はまだまだ未熟であると思った。しかし、後の正木さんの話で、「鉄は熱いうちに打て」や「情けは人の為ならず」といった言葉を聞き、「一人前の大人になるまでに、自分を磨きたい」と思った。

2組 尾西 翔太

今日、立志の集いを終えて、改めて自分が大人になったんだという実感がわかりました。大人になるということは、自立をしなければいけないので、このことをきっかけに、何か目標を立ててそこに向かって頑張るいいきっかけになったと思います。

3組 中野 陽菜里

立志の集いを終えて、自分が想像していたよりもっと早く大人になる時期が来ると気づき、驚きと同時にがんばろうと思いました。昔の人は、今の私と同じくらいの年齢で、一人前の大人として認められることを知って、今までは「大人になる」ということについて真剣に考えたことがなかったので、考えないといけないと感じました。

3組 本田 美識

私は、今日の「立志の集い」を聞いて、改めてこの式の大切さが分かることができ良かったと思いました。記念講演では、ことわざや名言についてくわしく話してもらい、とても分かりやすかったし、たくさん良い事を聞くことができ嬉しかったです。

4組 山形 直

今日の立志の集いを終えて、今のこの中学二年生の時期がすごく大切な時期だということを改めて知ることができました。私たちは今、実験の最中で、失敗を重ねていくことで理想の形に近づくことができるのではないかなと思いました。

4組 筒井 遥斗